

＜第2分科会＞ 組織・運営

研究課題 学校経営ビジョンの実現を図る活力ある組織づくりと運営

分科会の趣旨

今、学校には、安心安全の確保やいじめ・不登校等、様々な課題が存在している。校長は、これらの課題解決に向けた学校経営に取り組むことはもちろん、子どもたちが互いの心を結び、自分や仲間、そして学校やふるさとを誇りに思い、よりよい未来社会を創造しようとする態度や資質能力を育むよう、教育実践を絶えず見直し、改善を図ることが重要である。また、学校運営について適切に説明責任を果たすとともに、保護者や地域の理解と協力を得て学校づくりを推進しなければならない。

一方、小学校においては教員の授業実践や学級経営への意識は高いものの、組織的な取組は十分とは言えない面がある。学校経営ビジョンの実現や複雑化する教育諸課題への適切な対応のためには、組織的な取組が不可欠である。

校長は明確に学校経営ビジョンを示すとともに、教職員が、そのねらいや実現に向けた具体策を理解して、計画した教育課程の実施と評価・改善が適切に行える活力ある組織づくりと運営を進める必要がある。教職員の分掌組織や校務を見直し、運営組織の刷新等を通して、教職員個々の学校運営への参画意識や資質能力を高めることが重要である。

本分科会では、校長の示す学校経営ビジョンの実現と自分や仲間、そして学校やふるさとに誇りをもつ子どもの育成に向けて、活力ある組織づくりと運営のための具体的方策を明らかにする。

研究の視点

(1) 学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の刷新

校長は、学校経営ビジョンの実現に向けて、将来を見据えた学校像や学校教育目標実現への具体的な手だてや道筋を明確に示すことが重要である。教職員はもちろん、保護者や地域の理解や協力を得ながら推進を図り、絶えず実現状況を分析・評価し、運営組織や内容等の改善を進める必要がある。その際、すべての教職員に学校運営の担い手としての自覚と意欲をもたせるとともに、人材育成を意図した組織づくりも重要である。

このような視点に立ち、学校経営ビジョンの実現に向けて運営組織を刷新する上での、校長の果たすべき役割と指導性を究明する。

(2) 誇り高き子どもを育むための活力ある運営

子どもたちに、自分や仲間、そして学校やふるさとの誇りを育むためには、共に知恵を磨き、高め合う体験による喜びや自信を感得させるとともに、よりよい未来社会を創造しようとする意志と力を育むことが重要である。実現には、学校経営ビジョンに基づいた活力ある学校運営や魅力的で質の高い教育活動が必要となる。

そのため、校長は、学校組織を意図的、効果的に機能させることが重要である。組織における教職員個々の役割を明確に示し、その職務能力の向上・発揮に努めさせるとともに、協働して取り組む意識を高めなければならない。また、教職員個々の職務や教育実践を見届け、適切な評価を積み重ねることにより、学校経営ビジョンの実現に貢献できた満足感や学校運営への参画意識を高めていくことも重要である。こうした取組を効果的に推進するためには、役割間や役割内で十分なコミュニケーションを図ることも大切となる。

このような視点に立ち、誇り高き子どもを育むための活力ある学校運営を実現する上での、校長の果たすべき役割と指導性を究明する。